先端の創薬を通じて
人々の健康と
明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社
マスコットキャラクター
あすかちゃん

あすか製薬株式会社

第93期報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

証券コード 4514

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

第93期（2012年4月1日から2013年3月31日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

国内医薬品市場におきましては、昨年4月に業界平均6.00%の薬価基準引き下げが実施され、一般名処方加算等後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の要請は強まり、引き続き厳しい状況で推移しております。当社グループはこのような状況に対処するため、2013年4月から2016年3月末までの新中期経営計画「ASKA PLAN 2015」を策定いたしました。当期間は、売上規模500億円、営業利益30億円（売上高営業利益率6%）の実現に向け一丸となって取り組むことにより、堅固な経営基盤を構築し、次のステージに進めてまいります。

当社は、「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」との経営理念の下、医薬品をはじめとした医療関連ビジネスに取り組み、社会から信頼される会社として成長・発展していきたいと考えております。また、CSR活動を推進していくにあたり、コーポレートアイデンティティーをより明確にし、再整備いたしました。全ての役員・社員がベクトルを合わせ、経営ビジョンである「競争力のあるスペシャリティーファーマ」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2013年6月



代表取締役社長

山口　隆

目　次

株主の皆様へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
営業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
財務ハイライト（連結）・・・・・・・・・・・・・ 5
主要製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
株式の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

当連結会計年度におけるわが国経済は、震災復興に伴う国内需要に支えられ設備投資等持ち直しの動きが見られ、雇用・所得環境も依然厳しい状況にあるものの改善に向かっております。また、政権交代に伴う経済・金融政策への期待から市場は円安・株高基調への変化が見られ、景気回復への期待が高まっております。

医薬品業界におきましては、昨年4月に業界平均6.00%の薬価基準引き下げが実施され、一般名処方加算等後発医療用医薬品の使用促進策が推し進められるなど医療費抑制の要請は強まり、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、経営面では、中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の最終年度を迎え、医薬営業本部の体制強化を図り、適正な医薬情報活動を推進し、震災（放射線による風評被害を含む）により影響を受けた市場の回復に努め、新製品として消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット細粒」および甲状腺ホルモン剤「チラーヂンS錠」の新規格ならびに後発医療用医薬品7品目を上市しました結果、薬価改定の影響はありましたが、売上高は409億6千3百万円（前連結会計年度比0.8%増）となりました。利益面では、売上原価率の上昇はありましたが、販売管理費の減少により、営業利益10億6千1百万円（前連結会計年度比13.4%増）、経常利益13億3千6百万円（前連結会計年度比9.2%増）とそれぞれ増益となりました。当期純利益は、震災関連の復旧整備補助金3億5千9百万円を特別利益に計上したこともあり、11億1千4百万円（前連結会計年度は特別損失の計上等により7百万円の当期純利益）と大幅な増益となりました。

各分野における売上状況は、医薬品分野では、高脂血症治療剤「リピディル」、甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」、前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール」、消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット」、経口避妊剤「アンジュ」や緊急避妊剤「ノルレボ」ならびに更年期障害治療剤「メノエイドコンビパッチ」等の産婦人科製品、および後発医療用医薬品の前立腺癌治療剤「ビカルタミド」、高血圧治療剤「アムロジピン」等ならびにコ・プロモーション製品を中心に販売努力いたしました結果、売上高は371億1千4百万円（前連結会計年度比0.9%増）となりました。

動物用医薬品分野では、主力製品の豚・鶏用飼料添加剤「アイブロシン」、繁殖器官用製剤「セロトロピン」「レジプロン」および飼料用アミノ酸「リジン」「Lートレオニン」ならびに「Lーアルギニン」を中心に販売努力をいたしましたが、売上高は35億2千8百万円（前連結会計年度比0.1%減）となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の各分野におきましては、それぞれ市況の厳しさが続くなかで鋭意販売努力をいたしました結果、売上高は3億2千1百万円（前連結会計年度比2.1%増）となりました。

生産面におきましては、製品の安定供給を最重点に、在庫の積み増し、物流拠点の増設による在庫の分散配置ならびに出荷体制の強化等に努め、計画した水準を達成することができました。また、今後の品質管理業務の高度化・効率化に対応すべく、いわき工場敷地内に品質管理棟の建設を進め、本年4月に竣工し、5月から稼働を開始いたしました。

研究開発面におきましては、新薬の確実な開発の推進はもとより導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

当社がAlfa Wassermann S.p.A.（本社：イタリア）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結したL－105（肝性脳症治療剤：リファ

営業の概況

キシミン）は、現在フェーズⅡ／Ⅲ試験およびフェーズⅢ試験を実施中であります。また、本剤は希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定されました。

当社がLaboratoire HRA Pharma, SA（本社：フランス）と日本における開発販売権に関するライセンス契約を締結したCDB－2914（子宮筋腫治療剤：ウリプリスタール）は、フェーズⅠ試験が終了しました。

あすかActavis製薬株式会社につきましては、後発医療用医薬品事業の拡大を図るべく開発および販売促進を行っております。

当連結会計年度における設備投資額は8億2百万円で、その内訳は主として、いわき工場新品質管理棟他生産設備および研究設備に係るものであります。

今後の医薬品業界は、長期収載医薬品の薬価の見直し、薬価改定、消費税増税およびPIC／Sの導入などその環境は一段と厳しさを増すものと予想されます。

当社は企業価値の最大化を図るため、組織・人事・制度面での改革を進めてまいりました。今後も改革を緩めず効率的経営に努めてまいります。

生産面につきましては、安定供給、品質確保の体制を確保し、委託品の内製化、新製品の生産、設備増強による生産量の拡大を通じ、生産性の向上と原価低減を進めてまいります。チラーヂンの安定供給につきましては、製品の分散配置・適正在庫の確保を目指します。

研究開発面につきましては、重点3領域（内科・産婦人科・泌尿器科）に経営資源を集中させ、重要テーマ（L－105、CDB－2914、AKP－008他）については臨床開発体制を強化し、将来の事業の核となるよう進捗管理を進めてまいります。

販売面につきましては、医薬品分野は、重点3領域の戦略活動品目、重点活動品目に対して、最適なエリア戦略により効果的、効率的なプロモーション活動を展開し計画を達成してまいります。また動物用医薬品分野につきましては、牛および豚の「栄養と繁殖・免疫」を事業領域とし、繁殖用薬とアミノ酸等機能性飼料の組み合わせによる相乗効果等により収益向上を目指すとともに、今後の事業環境の変化に対応するため、特徴ある製品構成および技術を確立し、収益性の向上を目的とした事業構築を進めてまいります。

グループ会社につきましては、あすかActavis製薬株式会社と共同で後発医療用医薬品市場への浸透と開拓を進め、後発医療用医薬品事業の確立を図ります。株式会社あすか製薬メディカルに関しましては、強みである検査事業とヘルスケア事業の売上伸長を目指した事業展開を進めてまいります。

費用面では、パイプラインの充実やステージアップにより研究開発投資の増加が予想されますが、効率的な使用や導出等による費用の圧縮に努め、低コスト経営、体質強化を目指してまいります。

内部統制に関しましては、業務の有効性および効率性の向上、財務報告の信頼性の確保、業務活動に関わる法令の遵守、会社資産の保全に向け、内部統制システムの強化・定着に努めてまいります。

また、株主の皆様はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2012年3月31日現在	当連結会計年度 2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**24,210**	**27,233**
現金及び預金	3,873	3,983
受取手形及び売掛金	8,629	9,278
有価証券	195	2,694
その他	11,512	11,276
固定資産	**25,067**	**24,504**
有形固定資産	**12,571**	**11,889**
無形固定資産	**2,138**	**1,373**
投資その他の資産	**10,357**	**11,241**
投資有価証券	5,014	6,130
その他	5,342	5,110
繰延資産	**47**	**32**
資産合計	**49,326**	**51,770**
負債の部		
流動負債	**9,129**	**9,908**
固定負債	**8,378**	**8,512**
負債合計	**17,507**	**18,420**
純資産の部		
株主資本	**31,720**	**32,517**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	32,273	33,000
自己株式	△ 2,595	△ 2,525
その他の包括利益累計額	**88**	**827**
その他有価証券評価差額金	88	827
少数株主持分	**9**	**5**
純資産合計	**31,818**	**33,350**
負債純資産合計	**49,326**	**51,770**

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで	当連結会計年度 2012年4月 1日から 2013年3月31日まで
売上高	**40,637**	**40,963**
売上原価	22,624	23,047
売上総利益	**18,013**	**17,915**
返品調整引当金繰入額	△ 0	7
差引売上総利益	**18,014**	**17,908**
販売費及び一般管理費	17,078	16,847
営業利益	**935**	**1,061**
営業外収益	433	387
営業外費用	144	111
経常利益	**1,224**	**1,336**
特別利益	–	359
特別損失	497	104
税金等調整前当期純利益	**726**	**1,592**
法人税等	840	482
少数株主損益調整前当期純利益	**△ 113**	**1,109**
少数株主利益	△ 120	△ 4
当期純利益	**7**	**1,114**

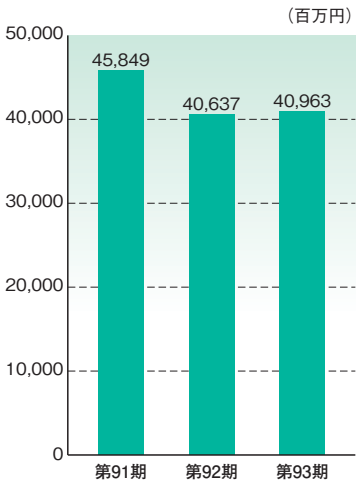
連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

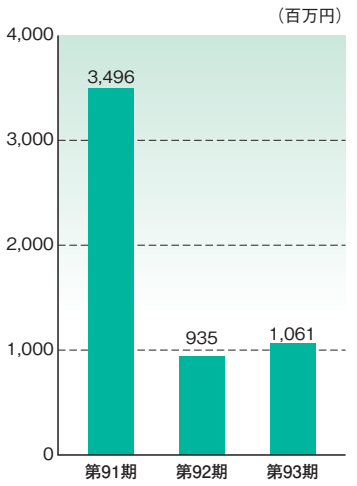
科目	前連結会計年度 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで	当連結会計年度 2012年4月 1日から 2013年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△ 2,514**	**3,869**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 37**	**△ 1,484**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 4,470**	**124**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**0**	**0**
現金及び現金同等物の増減額	**△ 7,021**	**2,509**
現金及び現金同等物の期首残高	**11,090**	**4,068**
現金及び現金同等物の期末残高	**4,068**	**6,578**

財務ハイライト（連結）

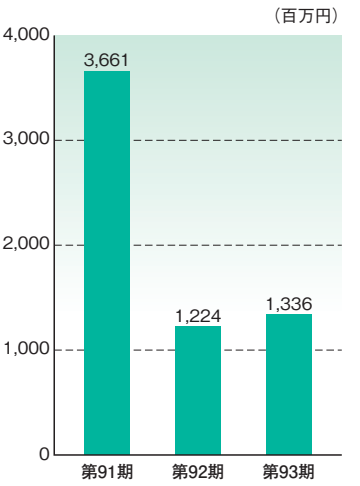
売上高



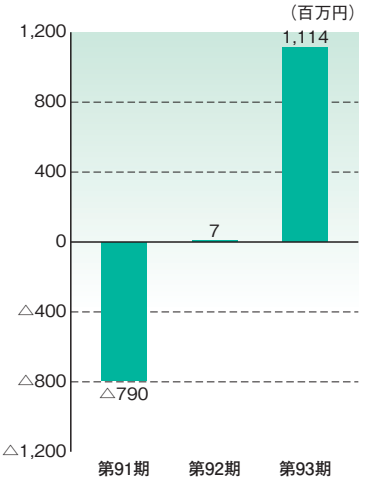
営業利益



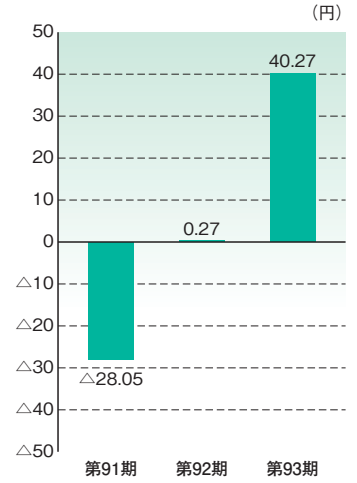
経常利益



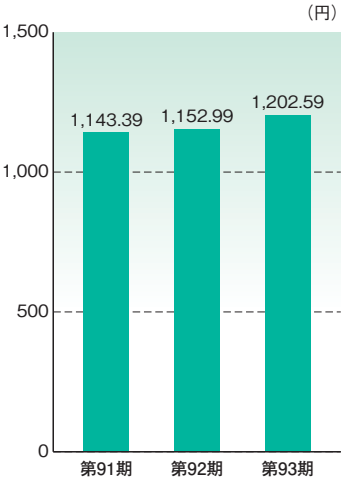
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



（注）当期末の自己資本比率は64.4％です。

●医療用医薬品



甲状腺ホルモン剤
チラーヂンS錠12.5μg・25μg・50μg・75μg・100μg



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25
徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠50mg



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5mg・75mg、アルタット細粒20%



高脂血症治療剤
リピディル錠53.3mg・80mg



緊急避妊剤
ノルレボ錠0.75mg



経口避妊剤
アンジュ21錠・28錠



更年期障害治療剤
メノエイドコンビパッチ



前立腺癌治療剤
ビカルタミド錠80mg「あすか」



高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬
アムロジピンOD錠2.5mg、5mg「あすか」

●動物用医薬品および飼料添加物



注射用血清性性腺刺激ホルモン
動物用セロトロピン



犬慢性心不全用持続性ACE阻害剤
リズミナール錠
1mg・2.5mg・5mg



豚・鶏呼吸器疾患治療剤
アイブロシンプラス-10・50



飼料添加物
L-バリン・L-アルギニン

◆ 中期経営計画「ASKA PLAN 2015」

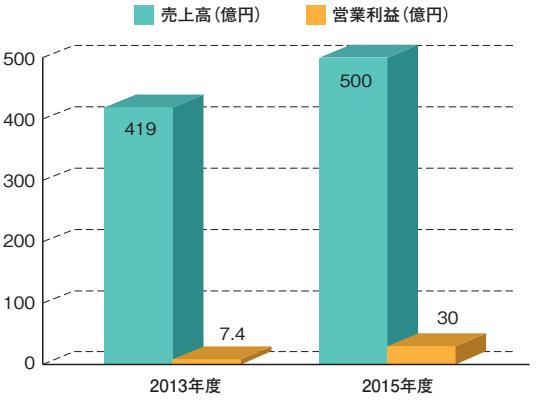
新中期経営計画「ASKA PLAN 2015」の3年間は、長期収載医薬品の薬価の見直し、薬価改定、消費税増税およびPIC/Sの導入など業界を取り巻く環境は、一段と厳しさを増すものと予想されます。このような状況下、当期間は、売上規模500億円、営業利益30億円（売上高営業利益率6%）の実現に向け一丸となって取り組みます。

前中期経営計画では、震災の影響やジェネリック医薬品事業の育成の遅れはありましたが、将来に向けた投資により成長の材料は揃ってきました。本中期経営計画では、その材料を成果に結びつけ、収益の改善により継続的に利益を創出できる企業を目指します。

事業の中心をなす医薬品事業では、重点3領域（内科・産婦人科・泌尿器科）に資源を集中し、期間中に新薬の発売、ジェネリック医薬品の拡充による市場への浸透を図ります。研究開発では、L-105の製造販売承認取得を目指します。

また、アニマルヘルス他の事業では、その特性を活かして事業環境変化に対応する体制と、得意とする領域で目標を明確にし、収益の向上に努めます。

あすかグループとして引き続き業務改善に取り組み、経費の見直しや組織力の強化により「ASKA PLAN 2015」を達成することで堅固な経営基盤を構築し、次のステージにすすめてまいります。



全社方針

1）「収益改善」に取り組み、筋肉質の企業体質を構築する。
2）組織のスリム化、効率化により生産性を高め収益の改善を目指す。
3）各部門の期間計画を達成する。

◆ 研究開発の状況（2013年5月現在）

※自社開発品　内科　婦人科　泌尿器科

開発コード/適応	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ	備考
L-105（リファキシミン） 肝性脳症、IBS、クローン病			Ph Ⅱ / Ⅲ	2015年度中の申請を目指す
※AKP-001（p38MAPK阻害剤） IBD				
CDB-2914（ウリプリスタール） 子宮筋腫、緊急避妊		Ph Ⅰ 終了		
AKP-008（プロゲステロン膣坐剤） IVF-ETにおける黄体ホルモン補充				
AKP-501（rFSH） 不妊症				
※ AKP-002（PDE9阻害剤） 前立腺肥大症に伴う排尿障害		アステラス製薬へ導出		

◆ 新製品発売 ～新しくラインナップに加わりました～



H2受容体拮抗剤
ラフチジン錠5mg・10mg「AA」



消化管運動機能改善剤
モサプリドクエン酸塩錠2.5mg・5mg「AA」



抗精神病剤
クエチアピン錠25mg・100mg・200mg「AA」



アレルギー性疾患治療剤
オロパタジン塩酸塩錠2.5mg・5mg「AA」



高血圧症・狭心症治療薬・持続性Ca拮抗薬
アムロジピン錠10mg「あすか」

◆ 第4回「HRT研究会」の開催

「HRT研究会」は、ホルモン補充療法（HRT）を専門とする医師への情報提供および若手医師育成のサポートを目的とし、2010年より年に1度開催している当社主催講演会です。

4回目となる今回は、「婦人科術後患者のヘルスケア」をテーマとし、2013年2月2日に実施いたしました。

今回は、更年期領域の医師だけでなく婦人科腫瘍を専門とする医師も招聘し、両方の立場から意見交換をする場を提供するという新しい試みに挑戦いたしました。その結果、多数の先生方にご出席いただき、参加いただいた先生方からの活発なご討論もあり、盛況のうちに終了いたしました。

今後も、日頃の情報提供活動に加えて講演会やセミナー等の実施を通じて、あすか製薬は産婦人科領域の先生方への有意義な会の提供と産婦人科製剤の販売促進に努めてまいります。

◆ 山口内分泌財団に日本産科婦人科学会から感謝状

当社は、内分泌疾患の成因・診断・治療・予防等に関する多角的な研究に助成している「公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団」に出捐しています。

本財団は、2013年5月9日、公益社団法人日本産科婦人科学会より、若手産婦人科医師への育成事業に対し多大な貢献を行ったことが評価され、同学会の学術集会において感謝状が授与されました。



◆ あすかコード策定

当社は、あすか製薬の共有理念としてプロモーション活動の規範「あすか製薬医療用医薬品プロモーションコード」に「あすか製薬コード・オブ・プラクティス」を追加した「あすかコード」を策定し、本年4月1日より実施しました。

従来のプロモーションコードは、営業部門が医療関係者等にプロモーション（医薬情報提供活動等）をする時の規範を示したものですが「あすか製薬コード・オブ・プラクティス」は全ての役員、従業員が企業活動（プロモーション活動以外に試験研究活動や情報発信活動、患者団体との協働、卸売業者との関係等）を医療関係者、医療機関、研究者、患者団体、卸売業者に行う場合の規範となります。「あすかコード」の下にそれぞれの活動に対して具体的な社内基準や手順を定めています。

私たちは生命関連企業として、また公的医療保険制度下での企業活動であることを深く認識して高い倫理観と透明性を確保し、社会に対する説明責任を果たします。

会社概要（2013年6月27日現在）

会社の概要

社名	あすか製薬株式会社
設立	1929年6月28日 （創立1920年6月16日）
資本金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入
主な事業所	
本社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
事業所	川崎事業所（神奈川県川崎市） 西東京事業所（東京都羽村市）
工場	いわき工場（福島県いわき市）
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店
従業員数	851名（3月31日現在） （出向者26名は含めておりません）

子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
	百万円	%	
㈱あすか製薬メディカル	200	100	臨床検査・試験業務・医療機器販売業務等の受託 医薬品原材料等の販売 健康食品等の販売 清掃・警備等の受託、保険代理店
あすかActavis製薬㈱	345	55	医薬品の開発、販売ならびに輸出入

役員

役員	代表取締役社長	山口　隆
	取締役副社長	山口雅夫
	専務取締役	金澤　一
	取締役常務執行役員 （管理本部長・生産担当）	丸尾篤嗣
	取締役（社外取締役）	上田栄治
	取締役（社外取締役）	吉村拳典
	常勤監査役	小泉直之
	常勤監査役	大竹　充
	監査役（社外監査役）	武田裕二
	監査役（社外監査役）	杉尾　健
執行役員	常務執行役員 （生産本部長）	角張信隆
	常務執行役員 （医薬営業本部長）	松葉昌行
	執行役員 （アニマルヘルス事業本部長）	應矢誠司
	執行役員 （医薬営業本部副本部長）	秋山　明
	執行役員 （医薬事業本部長）	村上　誠
	執行役員 （信頼性保証担当）	川原真幸
	執行役員 （研究開発本部長）	蓮見幸市
	執行役員 （特命事項担当 ㈱あすか製薬メディカル代表取締役社長）	齋藤守信
	執行役員 （特命事項担当）	木村孝一

株式の状況

■発行済株式の総数　30,563,199株

■株　　主　　数　3,949名

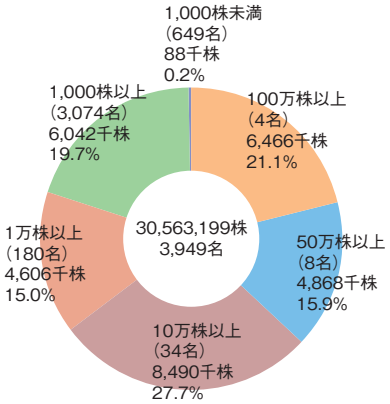
大株主の状況（上位10位）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
武田薬品工業株式会社	2,204	7.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,058	3.7
山口　隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	690	2.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	598	2.1
日本生命保険相互会社	579	2.0
株式会社ヤマグチ	556	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7
ビービーエイチ ボストン ハートランド バリュー ファンド 620018	500	1.7

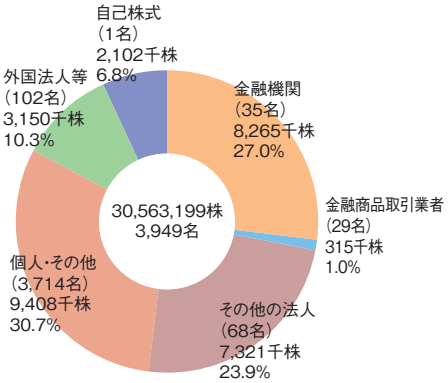
（注）1. 当社は、自己株式を2,102,646株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布

■所有株数別



■所有者別



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 4514
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
ＱＲコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のＱＲコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

●株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120（232）711（通話料無料） http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座*　株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。

あすか製薬株式会社
本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK